

江戸川柳略年表

『誹風柳多留』篇数刊行年

将軍	西暦	元号	年	篇数 (赤)	その他刊行年
吉宗	1718	享保	3		
家重	1757	宝暦	7		
家重	1757	宝暦			武玉川11
家重	1757	宝暦			武玉川12
家重	1758	宝暦	8		武玉川13・14
家治	1760	宝暦	10		武玉川15
家治	1761	宝暦	11		
家治	1762	宝暦	12		
家治	1762	宝暦			
家治	1763	宝暦	13		
家治	1764	明和	1		
家治	1765	明和	2	1	
家治	1766	明和	3		
家治	1767	明和	4	2	桜の実
家治	1768	明和	5	3	
家治	1769	明和	6	4	
家治	1770	明和	7	5	
家治	1771	明和	8		武玉川16
家治	1772	明和	9		
家治	1772	安永	1	7	
家治	1773	安永	2	8	武玉川17
家治	1774	安永	3	9	
家治	1775	安永	4	10	俳諧種御
家治	1776	安永	5	11	末摘花、武玉川18
家治	1777	安永	6	12	
家治	1778	安永	7	13	
家治	1779	安永	8	14	
家治	1780	安永	9	15	川傍柳
家治	1781	安永	10		
家治	1781	天明	1	16	傍2、3
家治	1782	天明	2	17	傍4
家治	1783	天明	3	18	傍5、末2、やない筥1
家治	1784	天明	4	19	筥2、
家治	1785	天明	5	20	藐姑柳
家治	1786	天明	6	21	柳籠裏3、筥2、
家治	1787	天明	7		玉柳
家治	1788	天明	8	22	
家治	1789	天明	9		
家治	1789	寛政	1	23	
家治	1790	寛政	2		
家治	1791	寛政	3	24	末3
家治	1792	寛政	4		
家治	1793	寛政	5		
家治	1794	寛政	6	25	
家治	1795	寛政	7		
家治	1796	寛政	8	26?	古今前句集1
家治	1797	寛政	9		
家治	1798	寛政	10	27	古今前句集5、6、7、8、9、10
家治	1799	寛政	11	28	古今前句集を柳多留拾遺と改題・末4
家治	1800	寛政	12	29	
家治	1801	享和	1		
家治	1802	享和	2		
家治	1803	享和	3		
家治	1804	文化	1	30	
家治	1805	文化	2	31、32、33	
家治	1806	文化	3	34、35	
家治	1807	文化	4	36、37、38、39、40?	
家治	1808	文化	5	41、42、43、44、45、46	
家治	1809	文化	6	47、48	
家治	1810	文化	7	49	
家治	1811	文化	8	50、51、52、53、54、55、56、57、58、	
家治	1812	文化	9	59、60、61、62	
家治	1813	文化	10	63、64、65	
家治	1814	文化	11	66	
家治	1815	文化	12	67、68	
家治	1816	文化	13		
家治	1817	文化	14	69	
家治	1818	文政	1	70	
家治	1819	文政	2	71、72?	
家治	1820	文政	3		
家治	1821	文政	4	73、74?	
家治	1822	文政	5	75	
家治	1823	文政	6	76、77、78	
家治	1824	文政	7	79、80、81	
家治	1825	文政	8	82、83、84、85、86、87、88	
家治	1826	文政	9	89、90、91	
家治	1827	文政	10	92、93、94、95、96、97	
家治	1828	文政	11	98、99、100、101、102、103、104、105	
家治	1829	文政	12	106 107 108 109	

各年注目事項

柄井川柳(初名勇之助)生
前句附点者となり川柳と号す
8月25日川柳評『万句合』を開き、摺物を創刊(寛政元年まで33年まで続く)
宝暦の大飢饉

川柳評万句合10月15日開キに一万句を越え名実ともに万句合となる。
慶紀逸歿、六八歳。
小林一茶生
江戸の岡場所(私娼)約40ヶ所
呉陵野可有(号、木綿)川柳評万句合の入選句から『誹風柳多留』を編集して出版

川柳評万句合閏九月十五日開キに二万句を越える

蒸気自動車を発明

この春、伊勢御蔭参り流行。「江戸っ子」の初見か?
2月29日 目黒行人坂大円寺より出火し大火災となる。
11月16日 安永と改元

「解体新書」刊行(杉田玄白・前野良沢)
恋川春町『金々先生栄花夢』刊、黄表紙初作。
アメリカ独立戦争

川柳大いに流行。江戸洒落本・黄表紙本流行、喜多川歌麿活躍はじめる。
4月2日 天明と改元
1月 山東京伝の黄表紙『ご存知商売物』刊 **天明の大飢饉**
1月 大田南北『万載狂歌集』刊、この頃狂歌流行 **浅間山大噴火**

1月 山東京伝の黄表紙『江戸生艶気榊焼』刊
**大雨で大洪水
天明の打毀**

寛政の改革(松平定信)
五月に呉陵軒(木綿)歿
この頃、黄表紙全盛。
フランス革命
川柳評万句合は9月25日開キを最後として休止
柄井川柳 9月23日歿、七三歳 寛政異学の禁
3月 山東京伝は手鎖り50日、版元蔦屋は重過料に処せられる。
7月21日 江戸大火 「海国兵談」絶版(林子平)
**ラックスマン、根室来航
ルーブル美術館開館**
10月25日 江戸大火
5月 蔦屋重三郎 写楽の役者絵板行
この年 黄表紙に敵討物が流行

5月8日 初代蔦屋重三郎歿

『柳多留拾遺』(蔦屋版『古今前句集』改題)を花屋久次郎より発行。

江戸の貸本屋 12組656。 間宮林蔵、樺太探検
式亭三馬『浮世風呂』初編刊
フェートン号事件

滝沢馬琴『南総里見八犬伝』初輯刊。
江戸市中の寄席75軒となる。
9月7日 山東京伝歿

1月17日 品川宿残らず焼失。 大日本沿海輿地全図」作成(伊能忠敬)

葛飾北斎『富岳三十六景』を天保初年にかけて刊行。
異国船打払令(無二念打払令)

シーボルト事件

家齊	1830	天保	1	110 111		
家齊	1831	天保	2	112 113 114 115	梅柳1	
家齊	1832	天保	3	116 117 118 119 120	梅柳3、	
家齊	1833	天保	4	121、122、123、124、125、126、127、128、	梅柳4、5	『江戸名所図会』前半10冊刊。 この年、安藤広重『東海道五十三次』刊
家齊	1833	天保				天保の大飢饉
家齊	1834	天保	5	129、130、131、132、133、134、135、136、137	梅柳6、7	
家齊	1835	天保	6	138、139、140、141、142、	梅柳8、9、10	『江戸名所図会』後半10冊刊。
家齊	1836	天保	7	143 144	梅柳11、12、13	
家慶	1837	天保	8	145	梅柳14、15	大塩平八郎の乱
家慶	1838	天保	9	146以下167編まで天保11年の間に出版	梅柳16、17、18	『東都歳時記』5巻梓行
家慶	1839	天保	10		梅柳19	蛮社の獄(渡辺華山・高野長英が投獄)
家慶	1840	天保	11	167	梅柳20	第一次アヘン戦争
家慶	1841	天保	12		新編柳多留1、2以後嘉永3年まで40	天保の改革(水野忠邦)
家慶	1842	天保	13			6月4日出版取締役でき、出版取締令出る。天保改革で寄席15軒に制限される。

【略記号】

拾(柳多留拾遺)

傍(川傍柳)

筥(柳筥)

籠(柳籠裏)

藐(藐姑柳)

桜(桜の実)

武(武玉川)以上岩波文庫、

末(誹風末摘花)

新(新編柳多留)

梅柳(狂句梅柳)

* 江戸下町文化研究会編集 引用・参考文献 □

『江戸川柳辞典』東京堂出版 :『俳諧大辞典』明治書院 :『川柳年中行事』春陽堂 :『江戸町人の研究』吉川弘文館

* 『誹風柳多留』を中心に纏め、篇数刊行年は『江戸川柳辞典』から引用。